

ORIGAMI-想いを重ねる展望台-

■プロローグ

海軍壕公園は観光で訪れる人や学生達への平和学習、地域住民の憩いの場として親しまれています。

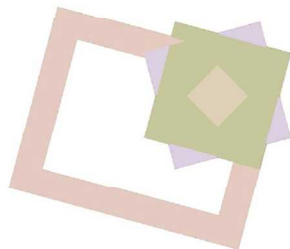
この高台に来ると、賑やかな街、美しい空と海が一望に広がり、沖縄の振興発展を日の当たりにします。しかし、第二次世界大戦末期には日本海軍の指令豪がおかれ、激しい戦場となった場所でもあります。訪れたすべての人が平和について考え、ここから見える素晴らしい風景をいつまでも残していきたいと想い、これからも平和で豊かであるよう願います。

■コンセプト

平和への願いを込めて折り紙でつくる折り鶴や千羽鶴は平和のシンボルとして世界中の人々にそのイメージが浸透してきています。日本の伝統文化のひとつとして「ORIGAMI」が万国共通語として世界中で知られています。そこで着想を得て折り紙をモチーフに平和のシンボリックな場所になるようにと計画しました。過去を回顧し、未来の展望が平和であるようにと願う場所になってほしいと考えます。

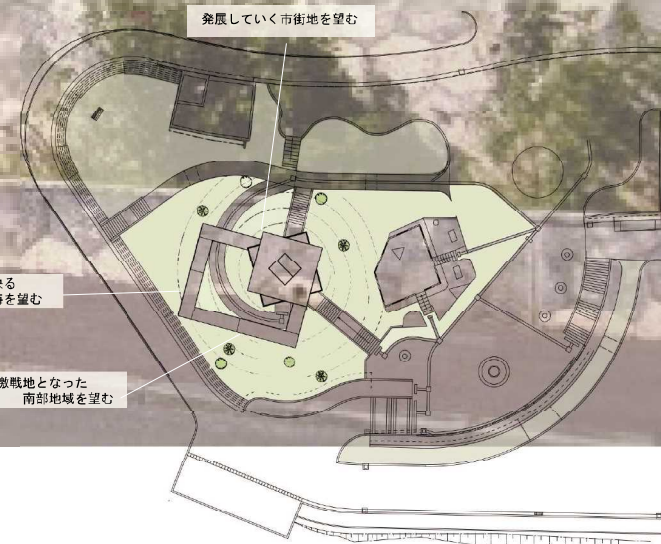
沖縄、そして世界を見つめ、平和の尊さを思い返す展望台を提案します。

コンセプトイメージ



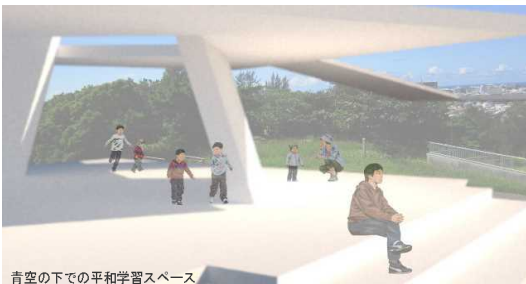
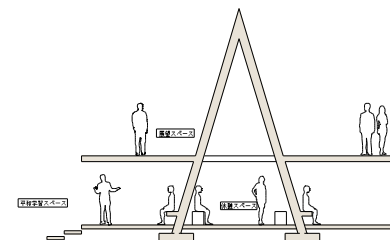
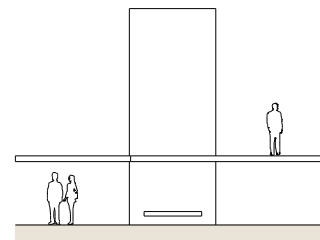
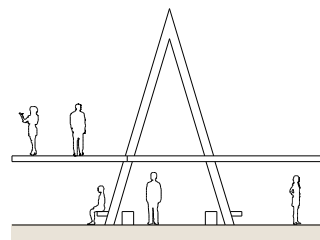
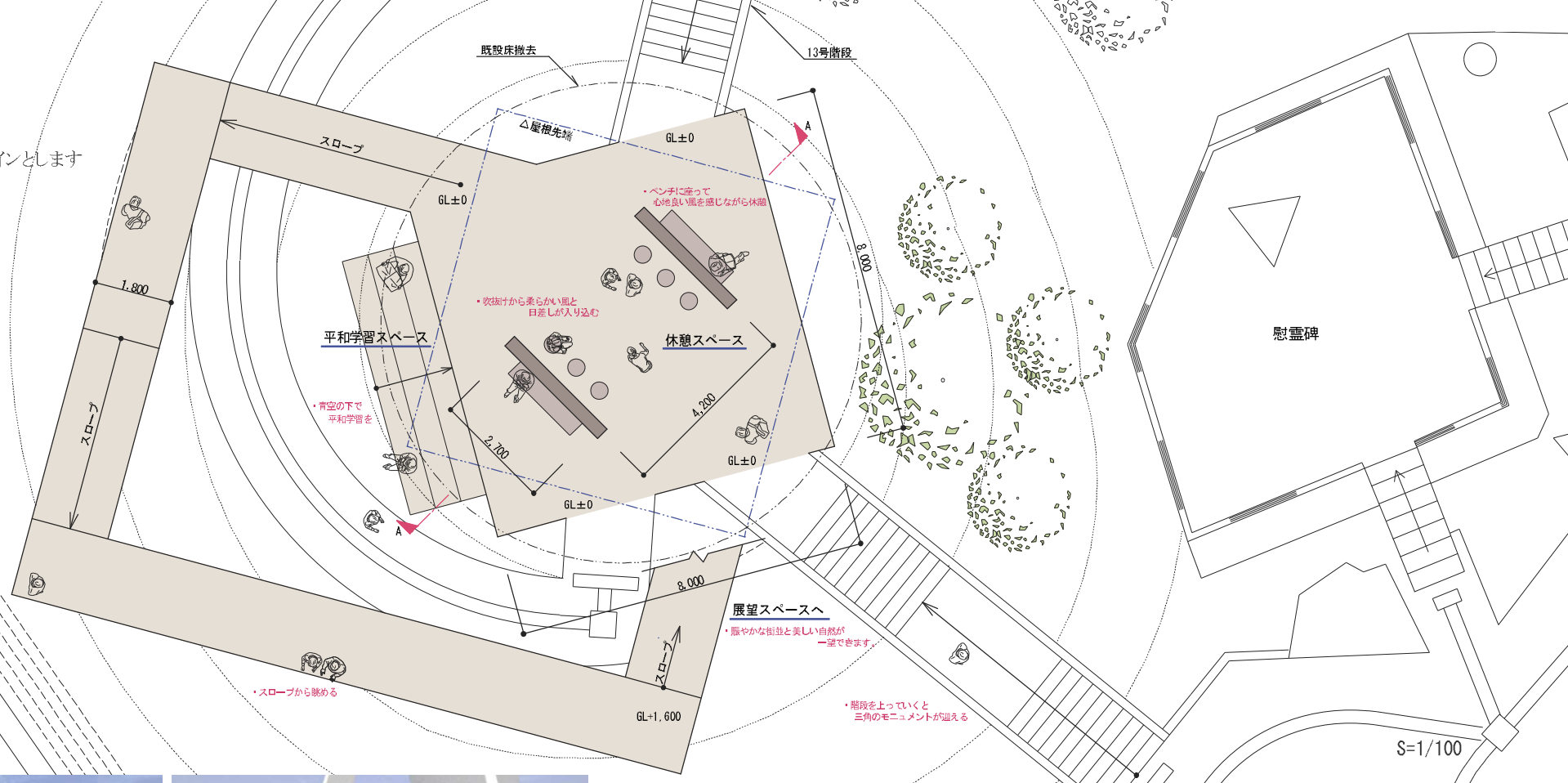
■配置計画

東側の階段から昇っていくと三角屋根がモニュメントのようにそびえ立ち、平和への祈りを捧げる礼拝堂のような雰囲気を感じる計画とします。柱などの構造物を外周に設けず建物中心部に配置し、展望スペースへのスロープは空中回廊にすることで景色を見る際に本建物や既存の樹木が視界に入らないようにします。展望スペース及び休憩スペース、平和学習スペースをそれぞれ独立させ、目的別に動線が分かれることで利用者が快適に活用できるよう配置しました。



■平面計画

訪れた人々の想いを
折り紙で重ねていくデザインとします



■建物概要

【階数】平屋建

【構造】鉄筋コンクリート造(空中回廊床:超薄肉プレストレストコンクリート)

【仕上げ】外壁:コンクリート打ち放しの上アクリルシリコン樹脂塗装仕上

展望台床・屋根:コンクリート金ゴテ押えの上洗い出し仕上(一部骨材として県産赤瓦の廃材を再利用)

※赤瓦の保水性と調湿性を期待し暑中時の熱中症対策に活用します

空中回廊床:コンクリート金ゴテ押えの上防汚塗装

■構造計画・維持管理計画

フライアッシュを混和材とした鉄筋コンクリート造を採用し、耐久性もあり塩害、サビに強い建物を計画します。

空中回廊においては、県内で製造可能な超薄肉プレストレストコンクリートを採用し、

全体として県内で資材が確保できるので施工計画を立てやすく、少ない工種と作業量で工期短縮とコストダウンを図ります。

シンプルな構造体とすることで、経年劣化等でのメンテナンスを簡易にしライフサイクルコストに配慮します。